

＜対策のポイント＞

漁業・養殖業の生産性の向上のためのデータ収集・利活用、人材育成、機械導入支援を進めます。また、太平洋クロマグロの資源管理の高度化の取組を推進します。

令和7年12月から適用される水産流通適正化法を確実に現場実装するため、ウナギ産業価値連鎖トレーサビリティ支援システム（仮称）の開発・試験運用等を行い、不透明なシラスウナギ流通の透明化を図り、ウナギ資源とそれを利用する産業の持続性を確保します。

＜事業目標＞

- 新たな資源管理の推進による漁獲量の回復（漁獲量444万t〔令和12年度まで〕）
- 内水面漁業・養殖業生産量の維持（57,162t〔令和8年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. スマート水産業推進事業 348（－）百万円

① スマート水産業普及推進事業

地域におけるスマート化の取組をリードする伴走者を育成支援するとともに、伴走者のサポートの下で生産者がスマート機械を導入・利用する取組の支援を行い、その成果や知見を全国に伝播していくことで、スマート水産業の普及を推進します。

② 国際資源対象魚種の漁獲・流通に係る監視・管理の高度化推進事業

太平洋クロマグロの陸揚げ港等における漁獲監視の高度化を図る新たな監視手段等の調査・検討・モデル的な検証等を実施します。

2. ウナギ産業価値連鎖トレーサビリティ支援システム開発等支援事業 150（－）百万円

ウナギ産業価値連鎖トレーサビリティ支援システム（仮称）の開発・試験運用及びシステム運営方針の作成を支援します。

＜事業イメージ＞

スマート水産業の推進

水産業の成長産業化
に向けた取組

水産資源の持続的利用
のための取組

＜目的＞ 漁業・養殖業の生産性向上
・勘と経験に基づく漁業からの脱却、スマート水産技術の生産現場への展開、データの利活用

＜目的＞ 資源評価・資源管理の高度化
・資源評価の精度向上、資源評価対象魚種の拡大、適切な数量管理の実現、資源管理の徹底

スマート水産業推進事業

スマート化のための人材育成・機械導入の支援や
資源管理の高度化を実施します。

1① スマート水産業普及推進事業

・生産現場でのスマート化の取組を全国に広げていくことで、水産業の成長産業化を推進

1② 国際資源対象魚種の漁獲・流通に係る監視・管理の高度化推進事業

・太平洋クロマグロの監視・管理強化推進

2 ウナギ産業価値連鎖トレーサビリティ支援システム開発等支援事業

・シラスウナギの流通透明化を図りウナギ資源・産業の持続性を確保

＜事業の流れ＞

